

ケミカルピーリング同意書

● ケミカルピーリングとは

グリコール酸や乳酸、サリチル酸などの専用の薬剤を使用し、肌表面の古い角質を取り除き、肌のターンオーバーを促進する治療法です。

〈適応症例〉ニキビ、くすみ、肌のざらつき、肝斑、小じわ

〈施術が受けられない方〉

- ・妊娠中または妊娠の可能性がある方
- ・授乳中の方
- ・重度の敏感肌の方
- ・炎症が強い発疹やニキビ、傷のある方
- ・ケロイド体質の方
- ・過去にピーリング剤で強い肌トラブルのあった方
- ・出血性疾患や外傷を持っている方

〈治療回数〉

2～4週間おきに6回～10回の治療が目安です。

〈治療前の注意事項〉

- ・施術前後2週間は紫外線を極力避けて、日焼けをしないようにしてください。
- ・ピーリング治療 1 週間前から顔面マッサージやゴマージュ、スクラブの使用は避けてください。
- ・顔そりは前日より控えてください。(男性の場合は当日の髭剃りを控えて下さい。)
- ・ニキビ治療薬のディフェリンやベピオゲルなどの角質剥離作用のあるもの・トレチノイン、高濃度レチノール、ハイドロキノン等の処方を受けている場合は、反応が強く出る可能性があるため、ピーリング治療 2週間前より使用を中止してください。
- ・各種アレルギー疾患を持たれている方は、治療前に医師に相談してください。

〈施術中の注意事項〉

・施術中の不快感や痒痒感、刺激感を認める場合があります。症状が強ければ施術時間の短縮や直ちに施術を中止する場合があります。

〈施術後の注意事項〉

- ・一時的な乾燥を伴うため、低刺激の保湿化粧水で 3 日間保湿をしっかりと行ってください。
- ・施術後は紫外線の影響を受けやすくなっています。日焼けは色素沈着や火傷のリスクを高める原因となるため、SPF30～50程度の日焼け止めを使用するなど、十分な紫外線対策を行ってください。

〈起こり得る合併症〉

刺激感、浮腫、紅斑、水泡形成、潰瘍、鱗屑、痂皮、色素沈着持続する紅斑や掻痒、一過性のニキビ・吹き出物の増悪、毛孔開大、瘢痕、感染、ピーリング剤によるアレルギー性皮膚炎および接触蕁麻疹など

※治療の効果には個人差があります。

私は、上記の説明を受け内容を理解しました。ケミカルピーリングの治療を受けることに同意します。

令和 年 月 日

患者氏名 _____